

① 各課所管の中小企業振興関連施策について

(1) 商工企画課

平成 25 年度の主な事業

■ 中小企業振興推進事業

- ・ 地域経済と雇用の主要な担い手である中小企業者への認識を行政・中小企業者・市民が共有し、地域振興を図ることを目的とし制定した「北見市中小企業振興基本条例」を広く市民に周知を図るため「広報きたみ」への特集記事の掲載や、啓発セミナー等を実施する。
また、基本条例の理念を施策に反映させ、当市の産業振興の指針となる「第2次北見市産業振興ビジョン」の策定を進める。

■ 融資制度預託金

- ・ 中小企業の事業運営の基礎となる金融の円滑化、正常化を図り、その育成振興と経営安定に寄与するため、北見市中小企業融資制度による 11 種類の融資を行っており、資金運用原資として、市内取り扱い金融機関に預託している。

< 利用状況 >

・ 新規貸付件数	22 年度	190 件	2,249,304 千円
	23 年度	162 件	2,017,040 千円
	24 年度	163 件	1,892,950 千円
・ 既貸付残件数	22 年度	577 件	5,418,368 千円
	23 年度	590 件	5,540,989 千円
	24 年度	617 件	5,690,635 千円

■ 融資信用保証料補給金

- ・ 経営安定革新資金及び緊急小口資金の借受者が、保証協会の保証付とした場合に保証料の一部補給を行う。

平成 20 年 12 月より経済対策として条件を緩和し、中小企業に対する支援を行っており、厳しい経済環境が継続しているとの判断から期間の延長を行っている。(平成 25 年 3 月 31 日までの時限的措置)

・ 補給実績	22 年度	29 件	3,255,163 円
	23 年度	37 件	5,693,260 円
	24 年度	46 件	6,340,483 円

■ 北見市工業技術センター運営管理

- ・ 木工、機械、金属等の地場企業に対する技術指導、研究開発等を推進し工業振興を推進することを目的に昭和 57 年に市が設置した施設。
平成 16 年度より指定管理制度により一般社団法人北見工業技術センター運営協会により運営。

今年度、老朽化した都市ガス管の更新及び屋根の修繕を実施する。

平成 25 年度の主な予算計上項目

事業名	金額 (単位：千円)
中小企業振興推進事業費	4, 0 0 0
融資制度預託金	2, 6 5 3, 4 1 7
融資信用保証料補給	4, 5 9 0
北見市工業技術センター運営管理費	7 4, 7 6 8

所管施設

北見市工業技術センター（指定管理者：（一社）北見工業技術センター運営協会）

関係イベント

- オホーツク「木」のフェスティバル（開催期間 H25年5月17～19日）
- 各商店街活性化イベント

■中小企業者への受注機会の増大 【総務部 契約管理課 所管】

・北見市の公契約に関する指針

基本目標

1. 公平で公正な入札・契約制度の確立
2. 品質と適正な履行が確保される入札・契約制度の確立
3. 地域経済の活性化に資する入札・契約制度の確立

「地域経済の活性化に資する入札・契約制度の確立」へ向けた個別目標

(1) 地元優先発注の推進

市は、公正な競争を確保しながら、地元企業優先の発注を推進し、受注機会を拡大することにより、地域経済の活性化を図る。

(2) 地元業者・資材の活用及び地元労働者の雇用

市は受注者に対し、工事等の施工に際しては、地元業者・地元資材の優先的使用を、また地元労働者の積極的な雇用を求め、地域経済の活性化を図る。

・「北見市小規模修繕契約希望者登録制度」

市の競争入札参加資格審査申請が困難な市内に主たる事業所を置く、小規模事業者の受注機会を拡大し、積極的に活用することによって市内経済の活性化を図ることを目的に実施。

(2) 産業立地労政課

平成 25 年度の主な事業

■北見地域企業立地促進協議会

地域経済に高い波及効果をもたらす企業立地を積極的に促進し、活性化を図るため、企業立地に関する調査、研究及び情報の収集

※会 長 : 北見工大社会連携推進センター長

副会長 : 北見商工会議所専務理事

構成団体 : 大学・公設試験研究機関・民間企業等 15 団体

■企業訪問活動

首都圏等の企業訪問予定件数 90 件 (立地企業本社、その他企業など)

・ 現在訪問企業の IT 関連会社数社と北見進出について継続的に接触中

・ 直近の企業誘致実績

平成 24 年 日本製薬工業(株) (常呂自治区)

製造内容 にんにくを原料とした機能性食品等

■工業団地・ハイテクパーク

ハイテクパーク立地促進補助金を活用し、積極的な誘致活動を展開している

・ 分譲率 : 工業団地 98.6%、95 社

ハイテクパーク 41.0%、3 社、3 公的支援機関

■北見地域季節労働者通年雇用促進協議会

国が季節労働者の通年雇用の促進に自発的に取組地域の関係団体から構成される協議会が策定した、雇用対策計画の中から通年雇用効果の高いものを選定し、協議会に事業を委託。

・ 会 長 : 北見市商工観光部長

・ 構成団体 : 自治体 ……オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町
関係団体 ……北見商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会、北見建設業協会など 14 団体

■雇用就業推進事業

・ 「ジョブサポートきたみ」の運営

求人情報の提供、就職・就業への支援、相談員による就職相談

利用状況 2, 870 人 (H24 年度)

併設機関

北海道 H16 ジョブカフェ北見 (北海道若年者就職支援センター)

若年者 (39 歳以下を対象)

就職に向けたカウンセリング、セミナー、

就業支援システム 等

H24 ジョブサロン北見 (北海道中高年者就職支援センター)

中高年者 (概ね 35 歳以上を対象)

適職診断、カウンセリング 等

国 H25 ハローワークきたみ（北見公共職業安定所）

求職者に対する相談・指導、職業紹介

- ・北見市大卒者情報センター運営協議会

会 長：北見市副市長

構成団体：北見商工会議所・北見市・ハローワークきたみ 他2大学

事業内容：新卒者求人情報の提供、市内企業の採用関係の調査

■雇用交付金事業（北見市全体）

- ・緊急雇用創出推進事業

事業名	金額(円)	新規雇用者数
地域資源付加価値向上6次産業人材育成事業	11,991,210	2
住民自治活動支援体制構築事業	14,207,215	5
域内消費拡大コミュニティビジネス事業	21,009,450	5
農産物を利用したソーシャルファーム起業支援事業	30,182,636	8
地元生産のバラによる新規商品開発事業	14,416,135	4
5事業	91,806,646	24

平成25年度の主な予算計上項目

事業名	金額（単位：千円）
企業立地補助金	10,000
ハイテクパーク立地促進補助金	10,000
通信費低減化支援補助金	2,000
輸送費低減化支援補助金	2,000

所管施設

- ・北見市働く婦人の家（北見市女性センター）
- ・北見勤労者総合福祉センター（サンライ北見）
- ・北見中高年齢労働者福祉センター（サンライフ北見）
- ・北見地域職業訓練センター

関係イベント

- 北見市技能振興推進大会（毎年開催） H26.2.4 予定
- きたみ技能まつり（隔年開催） H25.10.6 実施予定

(3) 産業連携推進課

平成25年度の主な事業

■産学官連携の推進

推進組織：北見市産学官連携推進協議会

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市、北見工業大学)

平成16年5月に設立し、市内15団体が加盟。産学官交流促進を目的としたビジネスセミナーや起業家育成支援セミナーなどを開催。さらに、北見工業大学の知見を活用し、地元事業者との共同研究開発事業を積極的に推進している。

また、平成23年度からは、北見地域産業振興ビジョンの進行管理、個別プロジェクト推進の役割を担っている。

○ 市場ニーズ発掘型製品開発支援事業

公設試験研究機関が首都圏等の市場ニーズを基にビジネスモデル及び試作品開発の概要を設計し、地元企業に提案するとともに、製品開発や販路開拓等の支援を行う。(委託)

○ オホーツク産学官融合センター

地元の中小企業者を対象とした「地域の研究開発から事業化までを支援するワンストップサービス拠点」であるオホーツク産学官融合センター(運営主体：北見商工会議所)、中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスと連携し、地元企業への支援体制を構築している。(運営費補助金)

○ 大学・公設試験研究機関との共同研究開発委託事業

大学及び公設試験研究機関と地元企業との共同研究開発を支援する。
(平成25年度 6件、平成17年度からの累計51件)

○ 連携構築補助事業

他の企業と連携し、新商品開発や販路開拓を目指す地元企業の取り組みを支援する。(平成25年度4件、平成19年度からの累計41件)

■地域資源活用の推進(高付加価値化・販路開拓)

推進組織：北見市地場産品高付加価値化推進委員会

(委員長：北見商工会議所中小企業委員長 事務局：北見市)

平成17年7月設立、農協、漁協、商工会議所、行政機関等で構成。当地域の豊富な農林水産資源を活用した加工製品の開発、及び大都市圏等への地場産品の販路拡大等の取り組みを支援する。

○ オホーツク圏地域食品加工技術センター

地域のニーズ対応した食品加工に関する試験研究、技術指導等を行う道立オホーツク圏地域食品加工技術センター(運営主体：(公財)オホーツク地域振興機構)と連携し、食品加工関連産業の振興と1.5次産業、6次産業の推進を図る。(運営費補助金)

○ 新商品開発事業

道内屈指の品質と収穫量を誇るオホーツク産小麦の利用拡大、ブランド化を目指し、地場産小麦を使った商品（菓子・パン・麺など）を開発し、市内商業施設に設けるアンテナショップにおいてPRする。

○ 販路開拓事業

首都圏で開催される大規模商談会（スーパーマーケットトレードショー、インフォメーションバザール）への出展支援のほか、効果的な商談会出展を目的とした事前セミナー事業を実施する。

道内 10 都市の連携事業「北海道スイーツ選手権」に参画し、地場商品の知名度アップを図る。

■ 新エネルギー推進事業

推進組織：オホーツク新エネルギー開発推進機構

（会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市）

平成 14 年 5 月設立、市内の大学、エネルギー関係機関で構成。平成 24 年度に策定した「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」に掲げる基本理念と推進プランの実現に向け、新エネルギーの普及・啓発事業を実施するとともに、産学官による共同研究を推進する。

○ 地域の特性に合ったソーラーエネルギーをはじめとする新エネルギーの活用について北見工大との共同研究を推進するとともに、クリーンエネルギーに関する普及啓発イベントを実施。

○ 住宅用太陽光発電システム導入費補助金

平成 14 年度より実施。平成 24 年度までの実績 699 件 3,213kW

平成 25 年度（予算） 補助件数 250 件 補助額 60,000 円/件

○ 新エネルギー調査研究・関連研究団体等への支援

「ホタテの貝殻を活用した両面太陽光発電システム実証実験」

北見工業大学、ハイテクパークで実施

○ 再生可能エネルギー発電施設の設置推進

メガソーラー等、再生可能エネルギーによる発電施設建設に対する支援策を制度化。当該施設に賦課される固定資産税（償却資産）額の 1/4 相当額を補助金として最大 3 ヶ年交付（平成 25 年度中に稼動開始の施設に限る）

関連施設（運営費補助）

道立オホーツク圏地域食品加工技術センター

（指定管理者：（公財）オホーツク地域振興機構）

関係イベント

■ 起業家育成支援セミナー（北見市産学官連携推進協議会）

■ ソーラークリエイティブ in 北見（オホーツク新エネルギー開発推進機構）

平成25年度の主な予算計上項目

(千円)

産業クラスター推進費	26,142
北見市産学官連携推進協議会負担金	1,500
大学及び公設試験研究機関共同研究開発委託	3,000
連携構築支援補助金	2,500
オホーツク産学官融合センター経費	5,800
北見工業大学社会連携推進センター推進協議会負担金	1,350
地域資源付加価値向上6次産業人材育成事業費（緊急雇用創出推進事業）	11,992
オホーツク圏地域食品加工技術センター運営費補助金	27,482
地場産業振興費	4,000
地場産品高付加価値化推進委員会負担金	4,000
新エネルギー推進費	18,400
オホーツク新エネルギー開発推進機構負担金	3,400
住宅用太陽光発電システム導入費補助金	15,000

(4) 観光振興室

平成 25 年度の主な事業

■観光関係

第三次・新北見型観光推進プロジェクトの実施

→北見市全体のPR「シティプロモーション（セールス）」に取り組み、各種プロモーション活動・外客誘致・受入れ体制の充実。

- ・山の水族館来場者の市内滞在時間の延長をめざし、道の駅に案内所を臨時開設。各観光協会・北見市観光協会連絡協議会と連携し、交流人口の拡大を目指して活動している。
- ・山の水族館 1 周年記念事業→式典・シンポジウム・パネルディスカッション・トークライブ・縁日イベント（7月7日）
- ・旅行商談会への参加→ ひがし北海道（東京・札幌）、中核都市（札幌）、北洋銀行企業商談会（東京）
- ・着地型観光情報の発信→ るるぶFree、女満別空港での映像上映
- ・大雪国道での連携→ 上川町と観光客誘客連携を実施（パンフ製作準備中）
- ・道内中核都市との連携→ 6都市スタンプラリー
- ・振興局との連携→ 根室・釧路・オホーツク総合振興局合同の観光客調査への協力
- ・観光庁との連携→ 外国人による観光地アンケート調査への協力
- ・管内での連携→ きたるっく、振興局オホ・キャラ隊への参加（ミントくんほか3体）
- ・姉妹都市との連携→ 高知市での観光・物産展開催支援

■物産関係

市内企業の百貨店への出店サポート

→道外の主要百貨店で開催される「北海道観光物産展」（北海道などが主催）などでの地場企業出店のサポート、北見のPRを実施

- ・道外の主要百貨店で開催される北海道等主催の「北海道の観光と物産展」は全国で 35 会場、その内北見市の主催会場として東武池袋百貨店や山形屋百貨店など 18 会場を選定し、地場企業から出店している企業のサポート及び北見のPRを行うべく、観光パンフやポスターの提供
- ・北見デーなど道外百貨店が独自に北見市をPRいただける場合、人的派遣や来場者記念などの特産品の提供
- ・北見独自の物産展として、菊まつり会場にてきたみ物産まつりや、高知市においてオホーツク北見フェアを開催

■ コンベンション関係

各種学会・イベントの誘致活動

→北海道コンベンション誘致推進協議会などと連携し、
各種団体や大学関係への誘致活動を実施

・ コンベンション開催に伴う経済効果試算

北見市	25 年 度			
コンベンション 開催状況	開催数 (件)	参加人数 (人)	泊数	効果
全 国	12	9,890	26	6,946,379,960
全 道	46	13,080	77	27,207,420,240
合 計	58	22,970	103	34,153,800,200
経済波及効果額(単 位:百万円)	341 億 5 千 4 百万円			

区分	観光消費額単価
日帰り旅行	7,246 円
宿泊旅行	27,014 円

北海道における観光消費額単価（北海道庁データ）

平成 25 年度の主な予算計上項目

自治区	名 称	金額(千円)
北 見	新北見型観光推進プロジェクト	31,300
	コンベンション誘致推進事業費	5,800
端 野	グリーンクアパーク運営管理費	23,414
常 呂	森林公園運営管理費	10,133
	サロマ湖ワッカネイチャーセンター費	15,279
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉運営管理費	37,609
	山の水族館整備事業費	73,994

主な所管施設

自治区	名 称	備 考
北 見	北見ファミリーランド	
	北見市自然休養村センター	
	北見市菊花栽培センター	
端 野	グリーンクアパーク	のんたの湯、パークゴルフ場
	物産センター	
常 呂	常呂町森林公園	
	常呂常南ビーチ	
	手工芸の館	
	サロマ湖ワッカネイチャーセンター	
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉	山の水族館・果夢林の館
	滝の湯ふれあいの里	

9

関係イベント（事実上主管する主なイベント）

自治区	名 称	備 考
北 見	北見菊まつり	
	冬まつり	
	でっかいどうオホーツクマーチ	網走市側と共催
端 野	太陽まつり	
常 呂	ところふるさとまつり	
	雪んこまつり	
	オホーツクサイクリング	合計 3 市 6 町で共催
留辺蘂	おんねゆ温泉郷雪物語	
	おんねゆ温泉つつじ祭り	
	おんねゆ温泉まつり	
	留辺蘂ふるさとまつり	

山の水族館

リニューアルオープン 平成 24 年 7 月 7 日（土）
 総工費 3 億 4200 万円
 入館者数 323,499 人（平成 25 年 7 月 30 日現在）
 入館者推移

年 月 日	入館者数（人）
平成 24 年 9 月 10 日	100,000
平成 25 年 4 月 13 日	200,000
平成 25 年 7 月 12 日	300,000